

小張敬之名誉教授記念特集号刊行にあたって

経済学会長 平 出 尚 道

小張敬之先生のご退職に際し、青山学院大学経済学会では『青山経済論集』第73巻第4号を小張敬之名誉教授記念特集号として刊行することになりました。

小張先生は、1978年に米国州立オクラホマ大学政治学部を卒業され、1981年に国際基督教大学大学院行政学研究科修士課程を修了の後、本学国際政治経済学部および経済学部の非常勤講師となりました。東京家政大学筑波短期大学の助教授を経て、1993年に本学経済学部助教授に就任され、1999年には教授に昇任されました。また先生は、1989年に米国コロンビア大学大学院からMA、2006年に筑波大学システム情報工学研究科から博士（工学）を授与されております。

2021年3月のご退職にあたり、これまでの教育、研究、学内行政、社会的活動を通じた本学への多大な貢献に対し、同年4月に青山学院大学名誉教授の称号が授与されました。あらためて名誉教授就任を心からお祝い申し上げるとともに、経済学部・経済学会に対するご貢献にも深く感謝申し上げます。

学内において先生は、キリスト者として永年宗教委員を務められたほか、英語教育の専門家としてLL／外国語ラボラトリー委員を務め、2018年からは2年間、外国語ラボラトリーの所長として語学教育機器の利用推進に尽力されました。

学会活動としては、国内では全国語学教育学会会員、外国語教育メディア学会会員、異文化間教育学会会員、日本教育工学会会員、情報処理学会会員であり、さらに、大学英語教育学会研究企画委員、モバイル学会理事を、現在に至

るまで務められています。国際学会では、国際応用言語学学会, Teachers of English to Speakers of Other Languages, American Association for Applied Linguistics, International Language Testing Association, Association for Learning Technology, International Association of Teachers of English as a Foreign Language, Association for the Advancement of Computing in Education, European Association for Computer Assisted Language Learning, ASIA CALL, Asia TEFL, Globalization and Localization in Computer-Assisted Language Learning に所属されています。また、社会活動として、茨城県教育委員会主催の英語スピーチコンテストの審査員、教育機関や企業でのセミナー講師も務められました。さらに、1998~1999年、2007~2008年、2018年、2019~2020年の四度にわたり英国オックスフォード大学で研鑽を積まれました。

先生は、英語教育をご専門とするなかで、とりわけテクノロジーを活用する英語教育を中心にご研究されてきました。コンピュータを使用する語学学習 CALL (Computer Assisted Language Learning)・情報伝達技術を活用した ICT (Information and Communication Technology) 教育の領域におけるご研究は多岐にわたり、eラーニング教材の効果検証、コンピュータやモバイル機器を活用してキャンパスとキャンパス外の学びを統合したサイバーキャンパス・システムの構築と実践、配信された授業を事前に受講し教室では演習・意見交換を行う反転学習の効果検証や、人工知能 (AI) や仮想空間 (VR) の活用にもまで及んでいます。ご研究は CALL, ICT の手法の問題にとどまらず、ICT を用いた内容言語統合型学習 CLIL (Content and Language Integrated Learning) の実践による、異文化理解を深め豊かな世界観を構築する教育の探求へと広がりをみせています。

先生はこうした研究を土台にした英語教育を展開すべく、1998年からインターネットおよびモバイル利用の英語教育研究を開始し、CALL 教室における英語 eラーニングシステムを導入しました。そして、2018年にはユビキタス環境における実証研究を AI/VR/ICT/BIG DATA を利用した英語教育にまで発展させました。

学生の英語力を向上させたいという先生の熱意や、シンガポール国立大学と学生間の交流を推進するなど積極的に国際交流ができる環境を提供していらしたことから、小張ゼミには本格的に英語を学びたい多くの学生が毎年集まりました。その面倒見の良さはアドバイザー・グループの指導でも発揮され、ご自宅で学生たちをもてなされていました。

先生はキリスト者として、プロテスタンティズムを教育理念の基盤とする本学に深い共感と敬意をもっておられ、信仰にもとづく建学の精神を体現しようと努めていらっしゃいました。その人柄は気さくで、学内の教職員と公私にわたって親しい関係を作ることを大切にされていました。写真撮影に優れられており、皆が集まる場で撮影されたものをプリントアウトし配られるという心遣いは、一同、感謝いたすところです。

このように、青山学院大学、経済学部および経済学会に多大な貢献をなされた先生がご退任されたことは誠に残念ですが、2021年4月からは、特別研究員として学部英語教育のVR導入のアドバイザーをお引き受けいただいております。また、今後も経済学部・経済学会へ、ご指導ご鞭撻を賜れば幸いに存じます。

最後になりましたが、小張敬之名誉教授のますますのご活躍を、経済学部・経済学会一同、心よりお祈り申し上げます。